

動画配信 3	富士市における副業・兼業人材の活用：個人の「強み」で企業の「悩み」解決へ 課題：富士市「中小製造業の業務改善調査（副業・兼業やDXの導入による効果）」 <副業・兼業活用事例集の制作・発信>
----------------------	---

※本事業はふじのくに地域・大学コンソーシアム「令和5年度ゼミ学生等地域貢献推進事業」の採択を受け、令和4年度第2次補正予算「内閣府デジタル田園都市国家構想推進交付金」の助成事業と連携して実施しました。

事業担当者

経営学部経営学科 教授 小豆川裕子（代表・指導教員）

参加学生（18名） 小豆川ゼミ・研究室 ○：リーダー

3年：赤堀裕斗 飯野太一 池ヶ谷瑠那 石川優月 大棟奈々美 加藤純香 小林穂乃香 坂野莉流
 ○佐々木蓮 柴田真奈 鈴木菜々美 鈴木怜奈 田口真衣 多々良朱里 一杉空河 益富咲菜
 望月陽向 渡邊柊斗

課題提出者：富士市産業交流部産業支援課

協力：(株) JOINX、富士このみスタイル・このみ会、富士信用金庫、コニカミノルタジャパン（株）

目的・概要

1. 副業・兼業の活用を推進する支援機関・支援者、2. 副業・兼業を活用する実施者（受入れ企業・団体等、副業・兼業人材）の2つの視点で調査・取材を行い、成功事例集を作成することで、関係人口の増加および中小製造業を中心に市内企業の成長発展に資することを目的に実施した。

事業成果

ゼミ生は本研究を通じて、労働力減少下における多様な人材活用の1つである副業・兼業を推進する意義と、企業・団体側および人材側のメリット・デメリット、効果を生み出す要件等を理解することができた。さらにヒアリングのアポどり、ヒアリングの実践を通じて、コミュニケーション力、関係者との調整力、取材力、文章作成力、不測事態や状況変化に応じた対応力を修得することができた。

研究成果は、本学 HP、富士市 HP、ふじのくに地域・大学フォーラム、「副業・兼業マッチング交流会」等で発信、活用事例集は富士市地域産業支援センター（Be パレットふじ）、各種セミナー等で配布している。

課題提出者の富士市産業交流部産業支援課からは、今回の調査で先行して導入している事例が明確化され、この調査結果をモデルに市内企業への導入をさらに進めていきたいとの講評を頂戴した。

◇富士市における副業・兼業人材活用事例集（表紙） ◇本事業における小豆川ゼミ・研究室の全体写真

